

### 【さつき (つつじ科)】

「さつき」も江戸時代から親しまれてきた花木である。

大きく成長するが、ふつう丸く刈り込みをして庭の景色としたり、盆栽で風雅を楽しむことが一般的であろう。

家にも父親が50年来育てた「さつき」が数多くある。いずれも低木である。

ちなみに父親は、子供のころ「ガチャポンポンプ」で水を汲み、朝夕盆栽に水をくれることを4代目の謹三郎や親から強いられたので、盆栽が嫌いになった。

盆栽の数は相当数あったとのことで、斑入りや変わったものもあったと記憶している。

とすれば、戦災で焼け失せるまで、繁亭金太の盆栽を育てていたと考えられる。



(2007年6月10日撮影)



(2007年6月9日撮影)

Copyright (C) 2007 増田信敬 All rights reserved